

授業改善プラン（国語）

目指す児童像	習得した基礎的・基本的な知識・技能を活用して、主体的に学び、自らの考えを表現する児童	
学 年	課題（児童の実態）	具体的な改善プラン
1 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語のまとまりを意識して音読することが難しい児童がいる。</li> <li>・相手を意識した話し方ができていない児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎日の音読の宿題を課す。</li> <li>○授業の中で、繰り返し音読に取り組ませる。</li> <li>○伝えたいことを整理してメモにまとめ、相手にわかりやすく話す練習をさせる。</li> </ul>
2 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の苦手な児童が多い。</li> <li>・自分の言葉で自信をもって発表できない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○漢字の筆順や使い方等について声に出したり、指書きをしたりする。また、毎日の家庭学習やプリント学習を通して書く機会を増やす。</li> <li>○ペアでの活動を増やし、個々で話したり聞いたりする機会を増やすとともに自分の考えを伝える抵抗を減らす。また、全体やグループでの発表の場も適宜取り入れていく。</li> </ul>
3 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字が苦手な児童が多い。</li> <li>・話の中心に気を付けて聞き、理解することが難しい児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎日の家庭学習や、ステップタイムを活用し、学習の方法を身に付けさせていく。</li> <li>○「話す・聞く」の場づくりをする。また、話を聞き終わった後、話の中心を確認する場面を多く設ける。</li> </ul>
4 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の苦手な児童が多い。</li> <li>・文章の内容を読み取ることが苦手である。</li> <li>・話の中心に気をつけて最後まで聞くことができない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○漢字練習の仕方を工夫し、書き写すだけではなく、考えながら学習できるようにする。</li> <li>○叙述に即して読み取る習慣を身に付け、大事な言葉を落とさないようにする。</li> <li>○「話す・聞く」の場づくりをする。また、話を聞き終わった後、話の中心を確認する場面を多く設ける。</li> </ul>
5 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の苦手な児童が多い。</li> <li>・文章の内容を読み取ることが苦手である。</li> <li>・考えを述べることに消極的な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○熟語や文作り、意味調べなど、書き写すだけではない練習の仕方を考えさせる。</li> <li>○叙述に即して読み取る習慣を身に付け、大事な言葉を落とさないようにする。</li> <li>○自分の考えをもてるように、メモ作りや資料を生かして話す場面などを授業に取り入れる。</li> </ul>
6 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えを述べることに消極的な児童が多い。</li> <li>・文章で表現することが苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○考えをもちやすい題材を選ぶとともに、自由に発言できる環境づくりを整える。また、発表メモなどを活用し、安心して発言できるようにする。</li> <li>○200文字程度の文ブリ（ミニ作文）に週3回程度取り組み、書くことに対する抵抗感を減らす。また、文ブリを交流したり、それをもとにした作文づくりなどにも活用していく。</li> </ul>